

NEWS RELEASE

森永製菓株式会社

https://www.morinaga.co.jp

2020年10月8日

表参道のプラカップゴミ問題に向けて、 日本初となる IoT 活用のスマートゴミ箱「SmaGO」 10 月 8 日(木)から運用開始

森永製菓株式会社(本社:東京都港区芝、代表取締役社長:太田 栄二郎)は、商店街振興組合原宿表参道欅会(理事長:松井 誠一)、株式会社フォーステック(本社:東京都港区、代表取締役社長:竹村 陽平)が提供するスマートゴミ箱「SmaGO」(スマゴ)34台を表参道沿いの歩道に設置し、10月8日(木)から日本で初めて正式運用を開始いたします。

「SmaGO」は、IoT 技術を活用したスマートゴミ箱で、上部のソーラーパネルで発電し 3G 回線を通じてゴミの蓄積状況をクラウド上でリアルタイムに把握できるとともに、ゴミ箱が満杯になると自動的に圧縮され約 5~6 倍の容量を捨てることが可能です。それにより、ゴミの収集作業を効率化でき、回収コストや、回収作業に伴う CO_2 削減が期待できます。ゴミ箱の動力はすべて、太陽光発電でまかなうため、電気代はゼロです。また、ゴミ箱のふたは足で踏むと開く非接触型で、ふたに触れなくてもゴミを捨てられます。

森永製菓では、持続可能な社会の実現にむけて、「SmaGO」のオフィシャルパートナーとして費用の支援を行うとともに、ゴミ箱をラッピングしてゴミの分別やリサイクルの大切さをお伝えしていきます。プラスチックを排出する食品会社として、提供時のプラスチックの削減だけではなく、お客様が購入していただいた後も、ゴミを正しく処理しやすい環境づくりをすることで、海洋資源の保全にもつながると考えて、今回のスマートゴミ箱の設置への取り組みをサポートさせていただきました。

今後も森永製菓では、「おいしく、たのしく、すこやかに」というビジョンのもと、企業活動のすべての領域において社会的責任を果たすべく、様々な取り組みを行い、ステークホルダーとの良好な関係を維持・発展させ、社会との共存と持続的成長の実現のために努力してまいります。



■「SmaGO」写真

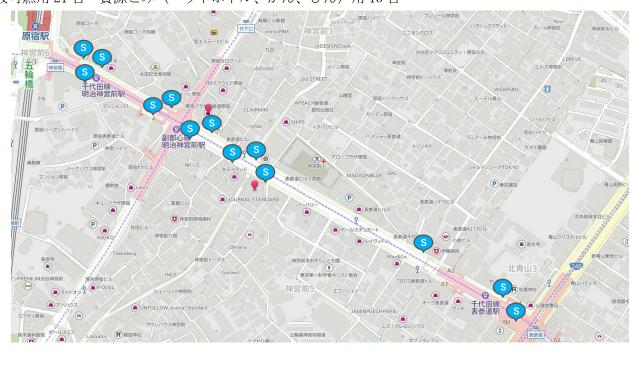




■「SmaGO」設置場所

表参道沿いの歩道に13カ所34台設置しています。

一般可燃用21台 資源ごみ(ペットボトル、かん、びん)用13台



■「SmaGO」ラッピングについて

森永製菓では、「SmaGO」のオフィシャルパートナーとして、森永製菓の主力商品「チョコボール」のキャラクターである「キョロちゃん」を活用した「SmaGO」のラッピングデザインを行いました。今回のデザインでは、森永製菓の「表参道宣言」として、ゴミの分別やリサイクルにより、表参道を美しくしていこうという呼びかけと、「SmaGO」設置に至った想いを打ち出しながら、企業理念である「おいしく、たのしく、すこやかに」のメッセージを掲げています。今後も、さまざまなラッピングデザインを予定しています。









■SmaGO について

「SmaGO」は、米 BigBelly Solar 社が開発したスマートゴミ箱を活用した、株式会社フォーステックが展開するソリューションです。(日本への輸入・保守・クラウドの管理は日本システムウエア株式会社が実施しています。)ニューヨークのタイムズスクエアやフランス、イギリス、アイルランド、ドイツなど世界 50 カ国以上の自治体で導入されており、ゴミの回収作業を効率化し、回収コスト圧縮に貢献しています。

<SmaGO の特徴>



<SmaGO のメリット>

ゴミの蓄積状況は、クラウド上でリアルタイムに把握できるとともに、ゴミを自動圧縮する機能を装備しており、回収頻度の削減を実現します。ゴミ箱ごとの回収状況がわかるため、ゴミがあまり溜まらない場所にあるゴミ箱を撤去したり、溜まりやすい場所にゴミ箱を増設したりと配置を最適化することも可能です。

<導入事例>

ニューヨーク市 タイムズスクエア (回収数削減率 50%、リサイクル流用率 40%)



ニューヨーク タイムズスクエアでの設置の様子

フィラデルフィア市

(回収数削減率90%、回収コスト削減率70%)



フィラデルフィアでの設置の様子